

## ラクシュミ・プリ氏

ラクシュミ・プリ氏は国連事務総長補兼ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関（UN Women）の事務次長です。政府間サポートと国連の連携、戦略的パートナーシップ部門でリーダーシップとマネージメントを担当しています。現在は、UN Women の事務局長代行です。



ラクシュミ・プリ氏は UN Women が創立されたすぐ後の 2011 年 3 月に着任しました。リーダーシップチームのシニア・上級リーダーシップの職員として、組織の発展と組織の統合、最初の戦略計画の作成、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを世界的に促進するための主要機関としての位置付けに精力的に取り組みました。リオ+20 や女性の地位向上委員会などの大きな政府間協議においても UN Women の活動が取り入れられるよう努めました。戦略的パートナーシップの構築、特に市民社会や女性団体と連携、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに対する国連全体の責務と統一システムの採用と実行の監視にも尽力しました。

ラクシュミ・プリ氏の経歴は一貫して、平和と安全、人権と持続可能な開発におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメントという課題にさまざまな角度から取り組んでいます。経済と政策決定の開発について幅広い経験を持っており、貿易や投資、移民や労働者の移動、資金流通、環境や気候変動、エネルギー、農業、食の安全、必要不可欠なサービスの普遍的アクセス、知的財産権、伝統的な知識などがあります。

ラクシュミ・プリ氏は UN Women に着任する前、国連事務所の後発開発途上国、内陸開発途上国、小島嶼開発途上国の上級代表として、第 4 回国連後発途上国会議の準備調整を行い、イスタンブール行動計画や政治宣言など、大きな成果を上げました。